

多世代共生型施設（仮称：福祉ヴィレッジ） 整備事業（案）の経過について

1. 二次審査の結果
2. 説明会の結果

1. 二次審査の結果

(1) 選定委員会の概要

- ・令和元年5月17日に選定委員会を開催し、提出された二次提案の内容を審査
- ・審査は、多世代共生型施設整備事業と公園整備事業に分けて実施し、審査の結果、それぞれ最優秀提案として選定することに決定した。

【結果の概要】

多世代共生型施設整備事業 … 700点満点中488点 得点率69.7%
※審査基準である60%以上の評価点を充足

公園整備事業 … 1,800点満点中1,392点 (得点率77.3%)

【参考】

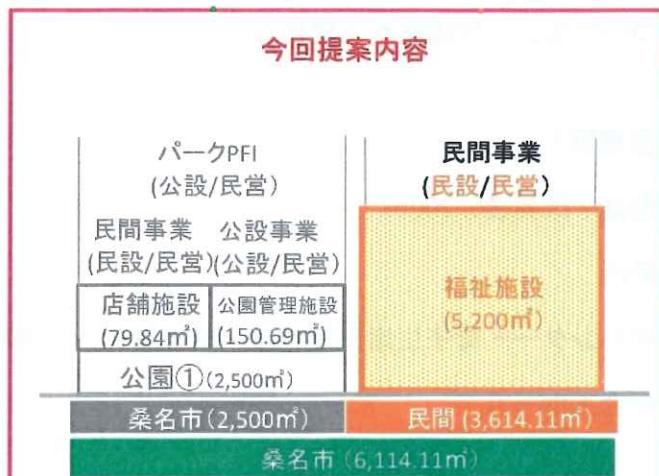
一次審査の結果 … 900点満点中626点 得点率69.6%
※審査基準である60%以上の評価点を充足

(2) 選定事業者

○大和リース株式会社（三重支店）と社会福祉法人桑名市社会福祉協議会のグループ
による共同提案

(3) 事業全体模式図

- ・公園としての機能を一部残し、パークPFI制度を活用した整備を提案する。福祉施設は、統合のメリットを活かし建物面積を縮小し、より民間のノウハウを活用した経営を行う。



(4) 外観イメージ



※ 画像は提案段階のイメージです。確定ではありません。

(5) 提案の概要

【全体】

- ・敷地の約4割に公園の機能を残す。
- ・「公園内の桜」「施設の防音対策」「災害の緊急時における地域住民の避難場所の役割」についても、一次提案から変更なし

【多世代共生型施設】

鉄骨造・3階建・床面積5,200m²

1階：保育所

2階：療育センター・母子生活支援施設・障害者生活介護事業所（+αの機能）

3階：養護老人ホーム

【公園】パークPFI制度の活用

- ・公園内の植栽は、季節の移ろいを楽しめるように計画する。（サクラ、モミジ、ハナミズキなど）



- ・地域交流スペース
- ・管理事務所
- ・店舗

- ・地域の方が気軽にいつでも来ることができる場所を目指して、近所の方の語らいや地域団体の打合せに活用してもらえる地域交流スペースを設置する。
- ・管理事務所には、障害者就労継続支援B型事業所の作業所としての機能を持たせる。
- ・公園内の収益施設となる店舗は、飲食が可能なカフェを想定。

市長コメント・新しい福祉の形は必要です。今の構造の中で考えていいし、
・旧地区外も含めて検討していく。⇒施設場所について

2. 説明会の結果

○ 日 時：令和元年6月1日（土）午後1時から午後4時

○ 場 所：桑名市役所 5階 中会議室

○ 内 容：多世代共生型施設整備事業について

- ・事業の構想について
- ・提案内容について

○ 参加人数：約110人

○ 主な意見

- ・伝馬公園は戦後や伊勢湾台風からの復興の象徴であり、そのままの形で残してほしい。
- ・事業の構想自体に反対するものではない。
- ・津波や浸水対策を考えるならば、もっと高台の場所も含めて検討するべき。
- ・利用する子どもの安全性は、十分に確保してほしい。